

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(女) 2 回戦

試合日: 2014/08/03
開始時刻: 15:00~
会場: 秀明八千代高校
コート: Jコート
試合順: 第4試合(女) 2 回戦

Team A				Team B			
県立四日市商 (三重県)	79	18	-	22	85	八雲学園 (東京都)	
		19	-	24			
		17	-	16			
		21	-	13			
		4	-	10			

TeamA(県立四日市商)

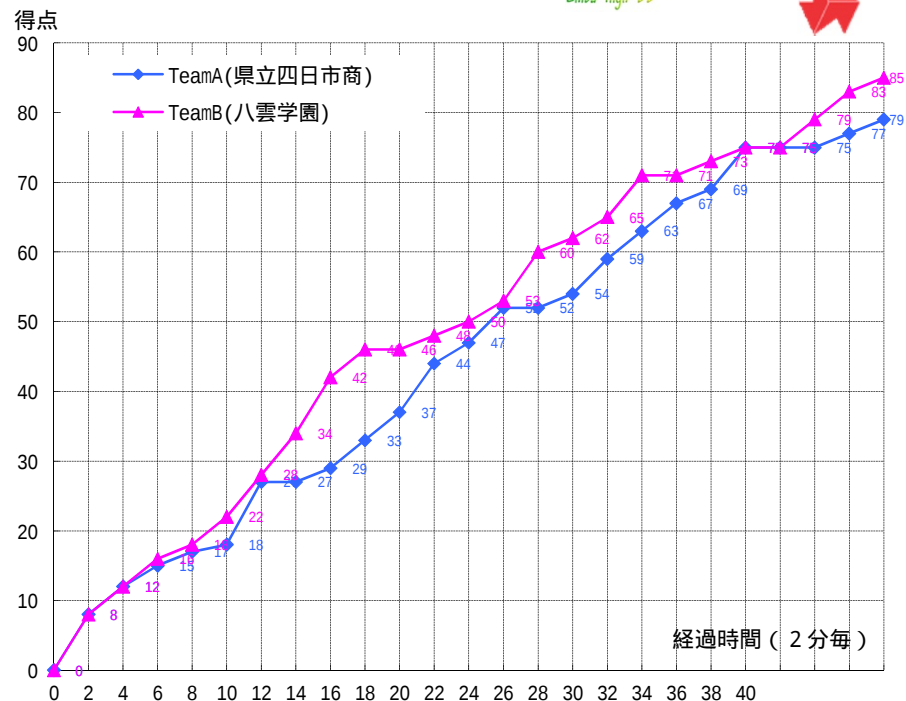
№	PT	選 手 名	得点	3ポ イント	2ポ イント	リバウ	反 則	リバウンド			アシ スト	ブ ロック ショット	ター ンオーバ ー
				成	成	成		off	def	計			
4		羽田 彩乃	16	4	2	0	1	1	1	2	2	0	0
5		向井 玲菜	12	2	3	0	0	3	1	4	1	1	2
6	-	奥山瑞生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	-	小西 佑麻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	-	柚村 怜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	-	水嶋 彩乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10		辻本 晴香	8	0	3	2	4	7	7	14	2	2	5
11	○	大谷 玲奈	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
12	○	高田 未来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13		平末 明日香	27	0	10	7	3	0	1	1	1	0	3
14		北川 愛理	16	0	7	2	3	5	5	10	3	2	2
15	○	木戸口 侑未	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	9	11			2
合 計			79	6	25	11	12	18	24	42	9	5	12

TeamB(八雲学園)

№	PT	選 手 名	得点	3ポ イト	2ポ イト	リバウ	反 則	リバウン			アシ	ブ ロック	タウ
				成	成	成		off	def	計			
4		曾根川 幸	12	0	5	2	2	1	6	7	2	0	1
5		高橋 美帆	22	0	10	2	4	2	1	3	2	0	0
6	○	梅木 杏夢	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1
7		吉田 舞衣	27	2	10	1	1	2	4	6	2	0	4
8		佐藤 由璃果	12	0	5	2	4	3	9	12	1	2	0
9		中島 彩	12	0	6	0	1	2	6	8	1	3	0
10	-	浅野 真結子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	-	亀井 悠梨乃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	伊藤 波音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	藤川 水紀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	-	金子 さくら	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	-	山田 千沙希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	2	8	10			0
合 計			85	2	36	7	12	12	36	48	8	6	6

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部高校バスケットボール部

InterHighSchool 2014 in Chiba 03J4



タイム
アウト

	前半(1-2P リバウンド)		後半(3-4P リバウンド)		延 1	延 2	延 3	延 4
TeamA	12:31	16:55	38:43	39:53	-:-	43:10		
TeamB	-:-	-:-	39:16	39:49	-:-	-:-		

【戦評】

四日市はオールコートマンツウマン、八雲はハーフマンツウマンでゲームを開始。第1P四日市は高さはないが、スピードのあるドライブで攻める。#13平末、インサイドからの#14北川のシュートが決まる。対する八雲は高さを生かした#7吉田、#中島のインサイドを中心に攻め、両者ほぼ互角の戦いで18対22八雲のリードで第1Pを終了。第2Pに入ってから、四日市の#13平末のドライブが冴え渡り、果敢にゴールに攻め込むが八雲の高さに阻まれシュートは入らないがファールをもらう。八雲はファールが多くなるが、#5高橋、#9中島がインサイドからのシュートを決め徐々に差を広げ37対46で八雲リードのまま前半を終了する。第3Pは両者互角の攻防で、四日市の#14北川、#10辻本のリバウンドの頑張り、八雲も差を広げることができず54対62で終了する。第4P開始直後八雲#7吉田の3Pが決まりリードをひろげたが、すかさず四日市#4羽田の3Pを決め食い下がる。さらにダブルチーム、プレスと厳しいディフェンスで八雲の攻撃のリズムを狂わせ#13平末のドライブ等で徐々に追いつき、終盤69対73の4点差までつめよりタイムを取る。タイム直後#14北川、#13平末が続けてシュートを決め残り11秒でついに同点に追いつき、この会場初の延長戦に入る。流れは追いついた四日市にあると思われたが、緊張から疲れも出てきたのか、シュートが入らない。一方八雲は#7吉田、#5高橋のインサイドシュート、#4曾根川、#8佐藤のジャンプシュートが決まり、79対85で高さのある八雲が延長戦を制した。

審判	大澤 尚樹 / 川満 有紀 /	戦評	高橋 英彦
----	-----------------	----	-------

千葉県高体連バスケットボール専門部